

三重県立熊野古道センターからのてがみ

"The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center"

2018.春号

通号 No.46

神川町の桜

神川の桜

熊野市街から県道34号線を井戸川沿いに約10km北進すると、神川町にたどり着きます。そこは300余人の方が暮らす静かな山里です。かつては、花知・大井・赤倉・粉所・長原・神上・柳谷(碓)の七つの村から構成されており、筏師も輩出した土地柄です。神上・殿浦には幕末の写真家田本研造の生家跡がひっそりとたたずんでいます。江戸末期の『紀伊続風土記』には、「神溪石」「神上石」という呼び名で那智黒石が紹介されており、那智黒石の里としても有名です。この地に通じる生活道も縦横に延びいくつもの峠をかつてたくさんの方が行き交いました。

毎年春には、神川町中心部から七色ダム湖にかけ約1,500本のソメイヨシノやヤマザクラが一斉に咲き誇ります。私たちがサクラに惹かれる理由をあげてみましょう。可憐で控えめな美しさを感じさせる薄いピンクの花びら、この様相は控えめであることが美しいとされる日本人の美意識に重なります。そしてサクラの美しさは散り際にこそありますね。生きている間は、美しくあろうとする私たちの死生観を表しているとも言われています。

旧神上中学校周辺では、創立記念として植えられたサクラが競うように咲き乱れレトロな木造校舎との取り合わせは、被写体によく取り上げられます。地元では「碓石の里熊野神川桜まつり」が開催され多くの人で賑わいます。静かな山里が、春の装いをまとう限られた時間です。そして当センターでは、ここ神川町を4月6日から3日間開催される、第12回熊野古道写真学校「春のほほ笑みを写す」の撮影地のひとつに選ばれました。どこか懐かしい、静かな里山風景が広がる神川町に出かけませんか。

Check!!
第12回熊野古道写真学校
「春のほほ笑みを写す」
2018.4.6(金)▶4.8(日)開催!!

3/25(日)
まで受付



旧神上中学校



熊野古道からの
てがみ

熊野古道から
のてがみ

46 通目

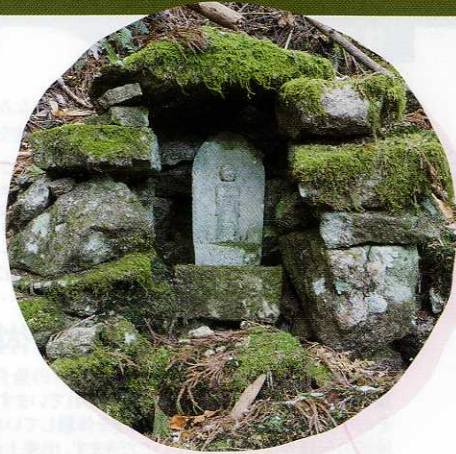
もうひとつの古道

「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された熊野古道も今では広く認知され、古道歩きをする人もたくさんの人に出会います。さて、今日はもうひとつの古道についてふれてみたいと思います。それは、自動車道が整備された以前、この地方の各集落をつないでいた生活道です。多くの人が行き交っていたであろう、そしてまた、各地の産物が交流していたであろう生活道。国土地理院の地形図を見るとその名残が破線



を見守っています。分岐には道標が設置され、そこに記された地名から、各地を結ぶ道であったことが分かります。ときには、足元をおおっている杉葉の下に立派な石畳道があるのに驚かされます。茶屋跡からは茶碗の欠片や古い瓶を見つげ出し、往時のにぎわいを想像します。畑や屋敷があったのであろうか、しっかりとした石組を見つげ、こんな山奥に、と驚くこともあります。

最近、これらの道のヤブを払ったりして整備してくださる方も見えるようになってきました。今に通る人もほとんどいなくなりましたが、かつての生活道。道ばたのお地蔵さんや道標に往時を偲びながらの生活古道歩きも味わい深いものです。



で記されていますが、今はもう忘れ去られてしまった道は、整備もされずに山中に埋もれつつあります。これまで、これらの道のいくつかを歩いてみました。ところによっては、不確かな道の跡を探しながらの山歩きです。路傍にはお地蔵さんを始めた石仏が祀られており、行き交う人びとの安全

次は尾鷲市の
東公雄さん



しおぎま かつや
塩崎 哲哉 さん
(御浜町)
日本蜘蛛学会会員
三重クモ談話会会員
三重自然誌の会会員

花尻 薫からの季節のたより No.46

花の開花は3月~5月で、彼岸の頃には全部ふつくと咲き揃います。

花のつぼみは前年の夏にはできて越冬し、2月の初旬からぼつぼつ白い小形の蕾状の花をつけます。北風の吹き抜ける場所は、まだ小さな紅の房が垂れ下がっている様子が見られます。

分布は本州(宮城県以南)・四国・九州・対馬・屋久島です。別名は麦花・馬不食・毒芝と記されています。馬酔木という、いわれは馬が食べた時の状態と、一説には家畜が食べると中毒にな



アセビ(馬酔木)
ツツジ科

り「足シビレ」となり、アシシビレが略されてアセビになったといわれています。

奈良市の春日山にはアセビが多いですが、これは鹿が有毒なことを知っていて食べないからだと言われています。有毒な成分により呼吸運動が調整できなくなり呼吸が困難になると言われています。子どもが口に入れないよう注意が必要です。

この有毒な性質を利用して、ウジや蠅、農作物の害虫駆除に利用したと古老が伝えています。方言はアセボシバ・サルシバ・ヨネシバ・イハモチなどが、あります。熊野古道沿いには荷阪峠道・横垣峠で多く見られます。

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング
営業時間: 11:00~14:00
料金: 中学生以上...1,200円
小学生以上...700円
4歳~小学生...300円
4歳未満...無料
60歳以上...1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もポカポカです。

開館時間: 10:00~21:00
入浴料: 一般...600円
65歳以上...500円
4歳~小学生...300円
4歳未満...無料

お風呂あがりは、カフェでゆったり♪
営業時間: 9:00~17:00
(カフェラストオーダー 16:30)

毎月26日は風呂の日 お子様は通常300円が100円でご入浴できます。



●お車でお越しの方は...
尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルビオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)

●電車でお越しの方は...
■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」前下車
■松阪駅
→南紀特急バス「熊野古道センター」終点下車(約2時間)

熊野古道センターからのてがみ

●2018年 春号●

- 発行日:2018年3月10日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:藤本
- 連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
TEL 0597-25-2666
FAX 0597-25-2667
Mail info@kumanokodocenter.com
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索
ホームページ
http://www.kumanokodocenter.com/
60000180310MF

熊野古道 伊勢路 通行止めのお知らせ
熊野古道伊勢路の以下の峠道が通行止めとなっております。
「横垣峠道」(南牟婁郡御浜町阪本地区~神木地区)
※平成30年3月10日現在

三重県立 熊野古道センター休館日のお知らせ 3/13(火) 3/14(水)の2日間はメンテナンスのため全館休館いたします。

旬の企画展
Event Info.

企画展 第11回
熊野古道
写真学校 作品展

紀北町と尾鷲市を舞台に開催した第11回熊野古道写真学校の参加者が撮影した写真の作品展を開催します。講師の清水重蔵先生および杉本恭子先生が撮影した写真もあわせて展示します。

会期:平成30年3月21日(水祝)~4月8日(日)
時間:午前9時~午後5時 ※会期中無休
入場料:無料
場所:企画展示室

特別展示室
企画展
工バ・イバネス・カノ
墨象展

スペイン出身の書家、工バ・イバネス・カノによる、熊野古道をテーマとした墨象作品展を開催します。

4月7日(土) 8日(日)
午後1時~2時まで
作者による墨象の実演をします。

特別展示室
企画展
大漁旗展

尾鷲市林町で長年にわたり桶づくりを業とした十六代目・吉田 稔氏の道具を展示します。使い込まれた、合理的な道具の形状に新たな発見が待っています。

会期:平成30年4月28日(土)~7月1日(日)
時間:午前10時~午後5時 ※会期中無休
入場料:無料
場所:特別展示室

ロビー展
桶・樽の道具展

桶づくり実演
5月20日(日)
午後1時~3時
講師 泉 協次氏 (尾鷲市在住) 申込不要

会期:平成30年5月12日(土)~5月27日(日)
時間:午前9時~午後5時 ※会期中無休
入場料:無料
場所:展示棟ホール

企画展 熊野古道 小辺路
~2つの聖地を
結ぶ道

空海が開いた真言密教の聖地「高野山」と熊野三山のひとつ「熊野本宮大社」を最短距離で結ぶ熊野古道小辺路。生活道として参詣道として役割を果たした小辺路の魅力を紹介。

会期:平成30年4月21日(土)~6月17日(日) ※会期中無休
時間:午前9時~午後5時
入場料:無料
場所:企画展示室

付属事業①
講演会
熊野古道小辺路の
今を魅せます・話します

1,000m超えの峠が4つもあり難路といわれる熊野古道小辺路。本講演会では高野山と熊野本宮大社を結ぶ熊野古道小辺路全路約70kmにわたって調査した結果について、道中の景観や石仏などの写真を交えながら道の魅力についてお話します。

日 時:平成30年5月13日(日)
午後1時30分~3時
入場料:無料
定員:80名(要申込、先着順)
場所:映像ホール
講師:熊野古道センター職員

付属事業②
新しい古道の歩き方
熊野古道小辺路を歩く
~天空の郷と三十三観音を訪ねて~

高野山から熊野をめざす旅の最後の難所といわれる標高1,080mの果無峠を越えるトッキングを開催します。道中には「天空の郷」と言われる果無集落や、西国三十三所観音の石仏が佇み歩くと静かに見守っています。

日 時:5月19日(土) 午前7時~午後4時 雨天の場合は5/20(日)に延期
参加料:1,000円(保険代、資料代)
※別途、路線バス運賃600円必要
定員:20名(要申込、応募多数の場合抽選)
場所:熊野古道小辺路果無峠越え(奈良県吉野郡十津川村一和登山道山頂山本宮寄り)
案内人:西浦 康代氏(新宮市観光ガイドの会)
対象:健脚者向けコース

熊野古道
第11回
フォト
コンテスト
結果発表

「熊野古道伊勢路「道」の魅力伝える」をテーマに募集した第11回熊野古道フォトコンテストの結果発表です。多数のご応募ありがとうございました。審査委員長は日本風景写真の第一人者で日本写真家連盟名誉会員の竹内敏信氏です。

- 最優秀賞 中井 為善氏(紀北町)「新緑の石だたみ」馬越峠道
- 優秀賞1 奥村 敏之氏(紀北町)「小雨の松本峠」松本峠道
- 優秀賞2 桑原 保氏(尾鷲市)「雨上がりの松本峠道」松本峠道
- 他入選 7名

当センターが主催する「道」の魅力を伝えるをテーマに募集した第11回熊野古道フォトコンテストの結果発表です。多数のご応募ありがとうございました。審査委員長は日本風景写真の第一人者で日本写真家連盟名誉会員の竹内敏信氏です。

GW
芝生広場イベント
当センター芝生広場でミニ機関車乗車体験やクライミングボード体験などを開催予定！GWは是非、ご家族揃って熊野古道センターへお越しください。

和歌山県
世界遺産
センター
からのお知らせ

当センターが行う参詣道保全活動「道普請」は、毎年、多くの方に参加していただいています。今年度は、2月末日現在で、47団体1,989名の皆様に、ご参加いただきました。今後も多くの皆様のご参加をお待ちしております。

当センターでは、「紀伊山地の霊場と参詣道」の良好な保全及び適切な活用が円滑に進むよう、世界遺産セミナーを開催しています。来年度は下記の日程での開催予定となりますので、世界遺産に興味・関心のある方のご参加をお待ちしております。

●参詣道保全活動及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは、和歌山県世界遺産センター(0735-42-1044)までお問い合わせください。

平成30年度 世界遺産セミナー(予定)

6/10(日) 内容:高野山と平家の物語 場所:高野山大円院

7/1(日) 内容:古代から中世へ、文学作品に描かれた「熊野」 場所:世界遺産熊野本宮館

9/2(日) 内容:天野と西行 場所:丹生都比売神社

「道普請」とは 文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいています。

平成30年1月~2月の道普請参加団体(敬称略)
田辺市天神児童館、阪和興業株式会社、日本航空株式会社、和歌山県職員労働組合、明治安田生命保険相互会社、和歌山ターミナルビル世界遺産クラブ、西日本鉄道OB会和歌山支部世界遺産クラブ

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは

和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお願いいたします。
住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

三重県立熊野古道センター休館日のお知らせ
3/13(火) 3/14(水)の2日間はメンテナンスのため全館休館いたします。

講座・講演

連続講座 古文書からひも解く地域の暮らし

歴史資料保存の大切さと地域の歴史・文化についての関心を深めていただくため、古文書の基礎的な知識の習得を目指す講座を開催します。尾鷲古文書の会会員の指導のもと、身近な歴史に触れながら楽しく学ぶことで、一年間の継続を目標とします。

日 程:第1回 4月21日(土) 午後1時~3時 ※計12回 第4土曜に開催
参加料:1,500円/年間(資料代含む)
定員:20名(要申込、先着順)
場所:図書資料室
講師:尾鷲古文書の会

4/29(日) 講座 今比丘尼が絵解く曼陀羅図

曼陀羅図を携え布教と勧進のため全国を行脚した熊野比丘尼。本講座では「熊野観心十界図」「那智参詣曼陀羅図」の絵解きを実演します。4月以降、偶数月に開催します。

時間:午前11時~12時、午後1時~2時
入場料:無料 ※事前申込不要です。
場所:熊野古道センター展示棟ロビー
実演:新宮市観光ガイドの会の皆様(4月は西浦 康代氏)

交流イベント

5/26(土)・6/9(土) 春季
初心者のための山歩き入門

小中学生や登山の経験が少ない方、センター主催の山歩きのイベントに興味があるが、体力に自信がなく参加を迷っているという方のための山歩き入門を開催します。

時間:午前10時~午後2時
参加料:200円(保険料・資料代として初回のみ)
定員:15名(要申込、応募多数の場合抽選)
場所:5月26日 体験学習室
6月 9日 馬越峠(道の駅海山集合) ※別途バス運賃310円必要
講師:宮本 秀男(熊野古道センター主任コーディネーター、日体協山岳上級指導員)
対象:小学生以上

透明水彩画 スケッチツアー 熊野を描く

画家・新谷武文氏を講師に迎え、熊野古道や周辺の漁港、町並みの風景を透明水彩画で描くスケッチツアーを開催します。

開催日時:5月26日(土)・6月9日(土) 午前10時~午後4時
10月27日(土)・11月10日(土)
参加料:3,000円(保険料を含む) ※全4回分 ※画材は各自で用意していただきます。当センターで購入の料金をいたします。(3000円~5000円程度)
定員:15名 ※中学生以上が対象(要申込、先着順)
開催場所:紀北町~熊野市周辺の東紀州地域で開催
講師:新谷 武文氏(熊野市文化協会会長)

東紀州の旬の食材や特産品を使った大人気の料理教室です。季節に合ったレシピを紹介します。調理のコツや裏ワザだけでなく、東紀州の食材について学べるのもこの教室の魅力です。楽しく学んだ後は、みんなで美味しくいただきます。

① やわらか紀和牛レシピ
② 初夏にぴったり鯉レシピ

時間:午前10時~
参加料:各2,000円
定員:各24名(要申込、応募多数の場合抽選)
場所:体験学習室
講師:村林 新吾氏(三重県立相可高校食物調理科教諭)

体験教室

県民の日
木工体験
4/14(土)

東紀州のご当地マスコットキャラクター達が遊びにきます!

県民の日にちなみ、尾鷲ヒノキ材を使った木工体験を開催します。

時間:午後1時~3時
参加料:100円(材料費を含む)
定員:材料がなくなり次第終了(※事前申込不要です。)
場所:展示棟ロビー
講師:熊野古道センター職員

4/28(土) カツオ生節づくり体験

古くより漁業が盛んな尾鷲市では、数々の魚介類を使った伝統的な加工食品が生産されています。その中でもカツオ生節の製造工程を体験していただき、地域の伝統食文化に触れていただきます。出来上がった生節はお持ち帰りできます。

時間:午後1時~4時
参加料:1,200円(材料費を含む)
定員:20名(要申込、応募多数は抽選)
場所:大瀬勇商店 加工場(尾鷲市中井町)
講師:大瀬 勇人氏(大瀬勇商店代表)

熊野古道自然学校
5/12(土) 探鳥会
身近な野鳥を学ぼう!

身近に見られるサギ類、ホオジロなどの野鳥を観察します。渡り鳥のオオヨシキリや翡翠色を帯び「川の宝石」といわれるカワセミなども見られます。

時間:午前10時~正午
参加料:500円(保険料・資料代含む)
定員:20名(要申込、応募多数の場合抽選)
場所:山崎運動公園(熊野市) ※現地集合
講師:中井 節二氏(日本野鳥の会三重) カワセミ

6/16(土) コケの観察会 蘚苔類って何?

熊野古道センター近く村嶋滝周辺に生育するコケ植物について、その分類や生態を学びます。

時間:午前10時~12時 雨天の場合は6/17(日)に延期
参加料:500円(保険代含む)
定員:15名(要申込、応募多数の場合抽選)
場所:村嶋不動滝周辺(尾鷲市向井)
講師:山田 耕作氏(財団法人服飾植物研究所非常勤研究員、理学博士)

新しい古道の歩き方

5/20(日) 民話の里を訪ねて~新緑の育生町へ

「タツ島とビキ島」の民話の舞台となった巨岩・奇岩を訪ねるツアーを開催します。清流尾川川や美しい滝など、見所たっぷりの山里巡りをします。

時間:午前10時~午後3時 雨天の場合は5/27(日)に延期
参加料:1,500円(保険料・昼食代を含む)
定員:20名(要申込、応募多数の場合抽選)
場所:熊野市育生町 ※集合場所:熊野市育生町尾川(とこね広場)
案内人:有木 保氏(育生地区地域まちづくり協議会会長)

6/2(土) 熊野古道横垣峠道と風伝峠道を歩く

御浜町神木地区と阪本地区を結ぶ本宮道・横垣峠道を歩くツアーを開催します。

時間:午前8時30分~午後4時 雨天の場合は6/3(日)に延期
参加料:500円(保険代含む)
定員:40名(要申込、応募多数の場合抽選)
場所:御浜町(集合場所:道の駅パーク7里御浜)
案内人:清水 鎮一氏(熊野古道語り部友の会幹事)
主催:御浜町、熊野古道センター

わくわく 日曜ものづくり体験教室

東紀州で活躍中の職人や工芸家を講師に迎えて、毎週日曜日に開催している体験教室です。事前予約不要で、小さなお子様から大人まで気軽に楽しんでいただけます。

時間:午後1時~3時受付
参加料:100円~(※体験によって異なります)
場所:交流棟ロビー
講師:大形 弥生氏、村川 実氏、竹内 健悟氏、中井 智章氏、吉田 誠人氏、熊野古道センター職員